

# 笑顔、感動の満足感

## 普代中学校で体育祭



4人のバランスが難しい「騎馬んばバンバン」



ゴールは間近、全力疾走！「最強リレー」

普代中学校  
(寺林拓也校長、生徒百十二人)の体育祭が八月二十

九日、同校のグラウンドで行われました。

当日はあいにくの曇り空でしたが、「波動」をスローガンに、夏休み明けから約二週間、生徒会が中心となって、昼休みや放課後に今まで頑張ってきた成果を、一人ひとりが精一杯発揮していました。

全校での紅白エール交換で始まり、16 People & 1 Things (16人17脚)や騎馬んばバンバン、どういう結果になるかわからない紅白全員リレーや最強リレーなど、みんなが一致団結して取り組んだ体育祭。日焼けした笑顔が輝いていました。

結果は紅組の勝ちでしたが、生徒たちの笑顔には、一つのことをやり遂げた満足感がありました。



うつ病について理解を深めた、北リアス健康塾

### 北リアス健康塾

## 心の健康管理、皆で理解を

岩手医科大学と村共催の北リアス健康塾「心の健康づくり講演会」は八月二十四日、村保健センターで開かれ、参加者は熱心に耳を傾け、自分や家族の健康管理の重要性を再認識していました。

講演会は主婦を中心に約四十人が集まり、岩手医大神経精神科学講座心理士の佐々木千尋さんが「見つめよういのちとこころ」と題し、自殺になりやすいうつ病などの病

気について説明しました。

佐々木さんは、県内の医療・相談機関も紹介するなどして、「うつ病は自分では気が付きにくい病気です。こういう講座で皆さんがうつ病を理解することが、予防につながります」と訴えていました。

茂市の野崎美枝子さん(六)は「保健センターや診療所などで気軽に相談できることも分かったのでよかったです」と話していました。

### 趣味教養講座「星を見るかい？」

## たくさん星を見て感動

八月四日、役場を会場に趣味教養講座「星をみるかい？」が開かれ、子どもから大人まで三十一人が参加して、夏の星空観察を楽しみました。

講師に大野村教育長の阿部俊夫さんと同村役場職員の野田司さんを迎え、役場屋上で星空観察。大会議室では「夏の大三角と天の川を楽しもう」と題してパソコンで星座の名前や探し方を学習しました。

役場屋上での星空観察は、天体望遠鏡で木星や二重星を観察。星座や流れ星を観察し



天体望遠鏡で木星を観る子どもら

ました。参加者は北極星、北斗七星、夏の大三角(デネブ、ベガ、アルタイル)、はくちよう座(北十字星)などの探し方など説明を受けました。また、この時期は流星が多いということで流れ星も見るこ

とができました。参加者の皆さんは「天体望遠鏡で星を見ることができてうれしかったです」「流れ星を初めて見て感動しました」「いろいろな星があることがわかりました」など楽しそうに感想を話していました。